



1. 環境大臣、石炭火力発電所新設計画に「是認できない」!!

環境大臣は2015年8月、袖ヶ浦市の石炭火力発電所の建設設計画について、「是認することはできない」という意見書を表明しました。本事業が「『日本の約束草案』及びエネルギー・ミックスの達成に支障を及ぼしかねない。」としています。

2. 市原市の石炭火力発電所計画は中止に

東燃ゼネラルと関西電力の市原火力発電所建設設計画は、袖ヶ浦と同じく、環境大臣から「是認できない」と指摘されていた計画ですが、自らの判断で中止になりました。

3. 千葉の蘇我火力発電所について環境大臣、異例の意見書提出

千葉市蘇我地域でも石炭火力発電所建設設計画がありますが、山本公一前環境大臣は、地球温暖化の懸念を事由に計画の再考を促す意見書を2017年3月に公表しました。

袖ヶ浦火力発電所の計画に対して、あなたにもできることがあります

2017年秋頃に千葉袖ヶ浦エナジー（事業者）による環境アセスメント準備書の手続きで、事業者の説明会や意見募集が行われる予定です。市民から事業者に公式に声を届ける機会です。

☞ 事業者が開催する説明会に参加してみませんか？

説明会の日程が決まったら公報などでお知らせがあります。参加者が少ないと関心が低いと思われ、市民の声が軽視されてしまいます。ぜひ説明会に出かけて質問を投げかけてみましょう。

☞ 環境アセスメントの意見書を提出してみませんか？

計画に対し、誰でも書面で意見を提出することができます。意見の数や内容は記録として残され、事業者もそれに答える必要があります。この秋、意見募集が始まったらぜひ意見を出しましょう。

☞ 周りの方にもこの問題を伝えていきましょう！

この計画は、袖ヶ浦市をはじめ市原市や木更津市など影響を受ける近隣の人たちに知られています。ぜひ一人でも多くの方にこの問題を伝えてください。

（株）千葉袖ヶ浦エナジー <http://www.csenergy.co.jp/>

袖ヶ浦市民が望む政策研究会とは・・・

市民の、市民による、市民のための政策実現を目指す市民活動サークルです。
(仮称)千葉袖ヶ浦石炭火力発電所1, 2号機建設設計画については、市民の健康被害、地球温暖化への悪影響などを心配し、2016年から市民を対象とした勉強会や環境省や千葉県知事への申入れを行っています。また、研究会のブログ(<http://seisakukenkyukai.blog.so-net.ne.jp/>)でも、情報発信しています。

<発行> 袖ヶ浦市民が望む政策研究会 代表 関 巍

URL : <http://seisakukenkyukai.web.fc2.com/>

連絡先 : 富樫孝夫 (Email : eight_xyz_finger@yahoo.co.jp)

<協力> 石炭火力を考える東京湾の会 URL : <http://nocoal-tokyobay.net/>

Don't go back to the 石炭 URL : <http://sekitan.jp/>

気候ネットワーク URL : <http://www.kikonet.org/>

*本チラシを配布用にまとめてご希望の方はご連絡ください。

(2017年9月1日版)

ご存知ですか？

袖ヶ浦に超大型石炭火力発電所。
長浦駅海側への石炭火力建設には
いろいろな問題が・・・

大気汚染

地域住民への健康被害
特に子どもやぜんそく疾患者

温排水

東京湾漁業への影響や
盤洲干潟環境破壊への懸念

気候変動

集中豪雨や干ばつなど
世界規模で影響

このまま計画をすすめて大丈夫???

袖ヶ浦の火力発電所建設計画ってどんな計画なの?

袖ヶ浦市中袖で計画されている「(仮称) 千葉袖ヶ浦石炭火力発電所1, 2号機建設計画」は、出光興産(株)、九州電力(株)、東京ガス(株)の3社が共同出資して設立した(株)千葉袖ヶ浦工ナジーが、設備容量100万kWの石炭火力発電所2基を建設するものです。国内の石炭火力発電所建設計画の中で最大級です。

現在、建設予定地の近くに2ヶ所火力発電所がありますが、液化天然ガス(LNG)を燃料にしています。この計画は、同地区で初めて石炭を燃料とする計画です。

(仮称) 千葉袖ヶ浦火力発電所 計画概要

事業社名	(株)千葉袖ヶ浦工ナジー
出資者	出光興産(株)、九州電力(株)、東京ガス(株)
住所	千葉県袖ヶ浦市中袖3番地1
設備容量	200万kW(100万kW×2基)
燃料	石炭(580万トン/年)
運転開始(予定)	1号機(2025年)、2号機(2026年)
CO ₂ 排出量	1,200万トン-CO ₂ /年 *推計
SO _x 排出濃度	22.0ppm
NO _x 排出濃度	15.0ppm
ばい塵排出濃度	5.0mg/m ³ N

問題1.住民の健康被害

半径5km圏内には、幼稚園・保育園、小中高校、病院などが立地。石炭火力発電所が排出する大気汚染物質による、地域住民の健康への影響は無視することはできません。

問題2.気候変動の加速

石炭は燃やすと、化石燃料の中でも一番多くのCO₂を排出し、その排出量はLNGの約2倍。地球温暖化の原因となり、異常気象や集中豪雨・干ばつなど気候変動を加速します。

問題3.生態系への影響

盤洲干潟は建設予定地から3km程度の距離。発電所が運転すると温排水が今より5割増加し、生態系への影響が懸念されます。



Q. 石炭火力発電所からの排出される大気汚染物質は、そんなに問題があるの?

A. 石炭火力はLNG火力にはないSO_x(硫酸化物)、煤塵、水銀を排出します。また石炭は、LNGより多くのNO_x(窒素酸化物)を排出します。SO_x、NO_x、煤塵は呼吸機能に影響を及ぼし、オキシダント、PM2.5、酸性雨の原因物質の一つでもあります。

電源別大気汚染物質の比較(100万kWh当り)

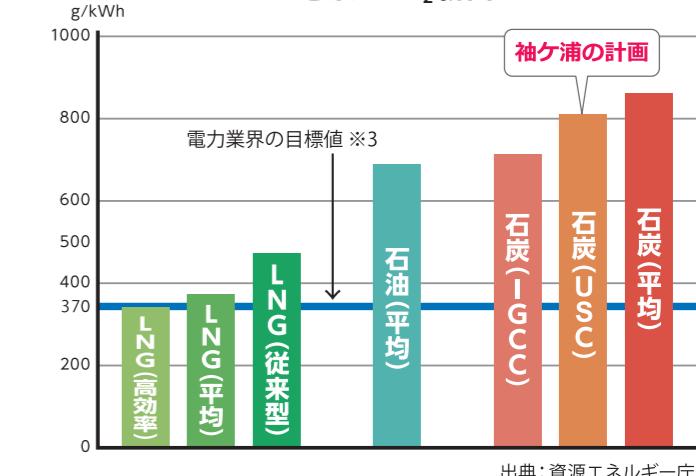
発電種類 ＼ 汚染物質	LNG	石炭火力	太陽光・風力など
亜硫酸ガス	なし	70m ³ N/h	なし
窒素酸化物	28m ³ N/h	50m ³ N/h	なし
粉塵	なし	20kg/h	なし
灰	なし	石炭の1割 29万トン/年	なし

* LNGは現在環境アセスメント中の五井火力発電所更新計画の準備書を、石炭は千葉袖ヶ浦火力発電計画の方法書の記載を元に算定した

Q. 事業者は最新鋭の発電技術を用いるほか、バイオマス混焼等も検討し、地球温暖化にも配慮すると言っているけど?

A. 袖ヶ浦に計画されている発電技術は、「超々臨界圧(USC)」という技術です。「最新型高効率発電」とされていますが、高効率のLNG火力発電に比較して約2倍のCO₂を排出します。バイオマス混焼は様々な問題があり、数%の利用でも大量のバイオマス燃料が必要で森林破壊などの課題が残ります。

電源別CO₂排出量



*1 石炭発電の使用電力量あたりのCO₂排出量は、最新型でも約800g-CO₂/kWh。
一方、天然ガス火力発電所は、最新コンバインドサイクルで約350g-CO₂/kWh。

*2 石炭ガス化複合発電(IGCC)の使用電力量あたりのCO₂排出量は、約700g-CO₂/kWh程度。

*3 電気事業業界団体の2030年度の排出係数目標(370g-CO₂/kWh)

Q. わたしたちの生活に電気は必要だし、火力発電所も必要ではないの?

A. 今、日本では省エネ機器の普及などで電力消費量が減少傾向にあります。そして、大半の原発が止まっていても電力は十分足りています。にもかかわらず、石炭火力発電所計画は、全国で40基以上の計画があって、世界的にみても異常なほどです。2016年にできた気候変動対策のための国際協定「パリ協定」にも逆行しています。

イギリス、フランス、カナダなどは既存の石炭火力発電所を含めすべて廃止することを発表しています。火力発電所ではなく、今後の省エネをさらに進めること、そして、これからの電気は環境にやさしい再生可能エネルギーを進めることが世界の潮流になっています。